平成26年度 第1回北海道シニア8(エイト)サッカーツアー

【 開 催 要 項 】

- 1 主 旨 家族そろって北海道各地をサッカーを通じて探訪し、各地区の地域振興に寄与し、シニア年代の普及と親交を深めることを目的とする。全国にも北海道の魅力を紹介すべく発信する。
- 2 名 称 平成26年度 第1回北海道シニア8(エイト)サッカーツアー
- 3 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会、北海道シニアサッカー連盟
- 4 主 管 根室地区サッカー協会
- 5 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会
中標津町、中標津町教育委員会、一般財団法人 中標津町文化スポーツ振興財団
- 6 期 日 平成26年8月2日(土)・3日(日)
- 7 会 場 中標津町運動公園第1・第2球技場
- 8 参 加 資 格 (1) 本年度、(公財)日本サッカー協会登録選手によって構成されたシニア種登録しているチーム。但し、女子部門と普及部門については、それぞれの種別に登録しているチーム。
(2) 普及策として、今後シニア種登録を予定の協会未登録選手の参加を認める。ただし、次年度以降には未登録のまま2回目の参加を認めない。該当者は大会当日、選手証の代わりとなる年令と本人確認できる写真入りの公的なものを提出し、個人参加料を収めること。13の(4)参照。
(3) 40部門については、平成26年4月1日現在で満40才以上の選手によって構成されたチーム。1974年(昭和49年4月1日)以前生まれ。
(4) 50部門については、平成26年4月1日現在で満50才以上の選手によって構成されたチーム。1964年(昭和39年4月1日)以前生まれ。
(5) 60部門については、平成26年4月1日現在で満60才以上の選手によって構成されたチーム。1954年(昭和29年4月1日)以前生まれ。
(6) 女子部門については、平成26年4月1日現在で満35才以上の選手によって構成されたチーム。1979年(昭和54年4月1日)以前生まれ。
(7) 普及部門については、平成26年4月1日現在で満35才以上の選手によって構成されたチーム。1979年(昭和54年4月1日)以前生まれ。
(8) 各部門とも混成によるチーム参加を認める。チーム名については略称名を認めるが、申込書には協会登録及び連盟登録チーム名を記載すること。
(9) 全ての部門及び部門間の重複登録を認めない。
- 9 参加チーム数 会場数に限りがあることから、予定数を超えた場合には協会登録チームを優先とし、抽選とする。
- 10 競技規則 (1) 「全道8人制サッカー大会競技規則」に準じて、「シニア種8人制サッカー競技規則」で実施する。
(2) 競技フィールド(グラウンド状況により、変更する場合がある)
 - ・ ピッチの大きさ: 縦60~70m×横40~50m(68m×50mを基準)
 - ・ ペナルティーエリアの縦: 12m
 - ・ ペナルティーマーク: 8m(但し、正規のゴールの場合は11mとする)
 - ・ ペナルティーアークの半径: 7m
 - ・ センターサークルの半径: 7m
 - ・ コーナーアークの半径: 1m
 - ・ ゴールの大きさ: 原則として少年用ゴール。但し、会場により正規ゴールを使用する場合がある。
 - ・ 交代ゾーンはハーフラインより左右3mずつの6mとする。
(3) ボール
 - ・ シニア40・普及は、5号球を使用。空気圧はメーカー指定とする。
 - ・ シニア50は、軽量5号球の400g。シニア60と女子は、380g。空気圧はメーカー指定とする。
(4) 競技者の数
 - ・ 8人制(うち1名をゴールキーパー)とし、6人未満となった場合は試合を不成立とする。
(5) 各試合毎の登録選手は、競技開始前に登録選手の氏名を主審に提出しておき、その全員が主審の許可を得て交代することができる。自由な交代を認める。
(6) 本大会期間中に2回目の警告処分を受けた選手は、次の1試合に出場できない。
(7) 本大会期間中に退場処分を受けた選手は、その試合と次の1試合に出場できない。以後の処置については、大会規律委員会において裁定する。
(8) 審判員については、1人制とするが、補助審判1名を別に置くこととする。
(9) その他については、本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
- 11 競技方法 (1) 各部門ともリーグ戦方式とし、ブロック毎の順位決定戦とする。
(2) リーグ戦は、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点在同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
 - I 全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - II 全試合の総得点
 - III 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - IV コイントス
(3) ノックアウト方式により同点となった場合には、3名によるPK戦により決定する。
(4) 試合時間は、各部門とも30分(15分ハーフ、休憩は原則として5分間)とする。
(5) 参加状況によっては、大会方式や試合時間の変更及び部門を統合する場合がある。

- 12 参加申込み
参加料
- (1) 参加申込書の登録選手数は、25名までとする。登録選手以外の出場は認めない。
 - (2) 申込締切日 平成26年7月9日(水)17時必着
 - (3) 大会参加料 21,600円(税込み)・・・下記④の指定口座まで納入。
 - (4) 個人参加料 1,080円(税込み)×人数分(公財)日本サッカー協会未登録者・・・下記④の指定口座まで納入。
 - (5) 審判不帯同料 16,200円(税込み)・・・下記④の指定口座まで納入。14の(3)の場合。
 - (6) 参加するチームは所定の申込用紙により、必ず所属する地区サッカー協会へ、Eメールにて送付すること。
 - (7) 申込を受けた各地区サッカー協会は期日までに下記①、②、③まで申込手続きを行うこと。

①	〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41 北海道フットボールセンター (公財)北海道サッカー協会 TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101 ●参加申込書 ●プライバシーポリシー同意書
②	根室地区サッカー協会 〒086-1046 標津郡中標津町東6条北1丁目1番地 Eメール: nemuro.fa@gray.plala.or.jp TEL 0153-73-4686 FAX 0153-73-4686 ●参加申込書
③	北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東美智子 Eメール: smrs-ito@taupe.plala.or.jp TEL: 090-3778-4706 FAX: 011-778-9761 ●参加申込書
④	大会参加料・審判不帯同料振込先 入金先 大地みらい信用金庫 中標津支店 口座番号 (普)1136633 口座名 根室地区サッカー協会 会長 五十嵐勝一(イラシヨウイチ)

- 13 組合せ
- (1) (公財)北海道サッカー協会において、厳正なる抽選を行う。
 - (2) 組合せ結果は、(公財)北海道サッカー協会HPの「大会情報→シニア」にて確認すること。
<http://www.hfa-dream.or.jp/>
 - (3) 同じ地区より2チーム以上出場しているチームは、ブロック分けとする。
- 14 帯同審判員
- (1) 参加チームは、JFA公認審判員(4級以上)を必ず2名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格、連絡先等を参加申込書に記入し、大会当日は、審判証を提示すること。
 - (2) 選手・役員が審判員を兼務する場合は、審判業務を最優先とすること。
 - (3) 2名帯同できない場合は、不帯同料16,200円を12-④に納入すること。
- 15 選手登録変更
- (1) 選手の登録変更は、大会の15日前、平成26年7月18日(金)17時までに、所定の変更届けにより、地区協会を通してEメールにて12-①②③に届けること。
 - (2) (公財)北海道サッカー協会への追加登録は、大会の15日前、平成26年7月18日(金)17時までに当協会に登録を完了した選手とする。選手証の発行が間に合わない場合は、必ず(公財)北海道サッカー協会に仮選手証の発行依頼し、大会当日持参すること。
- 16 ユニフォーム
- (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を厳守すること。(ユニホーム規程はHFAホームページに掲載)
- 17 監督会議
- (当日、監督が欠席の場合には、必ず代理をたてなければならない)
期日: 平成26年8月2日(土) 各部門の第1試合開始時間の1時間前に集合。
会場: 試合会場の大会役員テント前(2会場に分かれる場合は、当日指示する。)
- 18 開会式
- 監督会議の終了後に行う。
- 19 閉会式
- 期日: 平成26年8月3日(日) 各部門の最終試合に行なう。
会場: 各部門最終試合会場
- 20 負傷及び事故の責任
- 大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。
- 21 その他
- (1) 選手の資格等に関して、その他不都合な行為があった場合、そのチームの出場を停止する。それ以降の処置については大会規律委員会において裁定する。
 - (2) (公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真を添付したもの)を監督会議に提出する。但し、電子登録証(写真が登録されているもの)により確認できる場合は、出場を認めるものとする。
 - (3) 本大会要項に規定されていない事項が発生した場合については、北海道シニアサッカー連盟において協議の上、処置する。
 - (4) 参加選手は、自己責任のもと健康状態には特に注意し、事前に医師の診断を受け、試合出場に支障のないことを確認のうえ、出場すること。
 - (5) 大会参加にあたって、各チームは大会参加前にスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。
 - (6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、当運営委員会において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意すること。
 - (7) 眼鏡:プラスチックまたは類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。
 - (8) 宿泊の斡旋は行わない。弁当等の斡旋については、主管地区協会より別途案内する。